

ロータリー財団 地区補助金事業報告

広島東ロータリークラブ（グループ6）

◆在宅緩和ケア・ホスピスに関する講演会開催を支援するプロジェクト

- 後援会 「小さな町のホスピスモデル ～安心して暮らせる町づくり～」
- 日 時 2013年11月17日（日）13:00～16:30
- 場 所 ホテル「大広苑」 竹原市竹原町上新開 3591-1
- 主 催 広島・ホスピスケアをすすめる会竹原支部

◆プロジェクトの概要

広島東ロータリークラブは、「広島・ホスピスケアをすすめる会竹原支部」というボランティア団体が主催する「小さな町のホスピスモデル」と題した講演会開催を助成しました。

がんの苦痛を緩和する看取りの場としてホスピス整備が進められましたが、少子高齢化が進むのに備えて、国の緩和ケア政策は施設型ホスピスから在宅緩和ケアに重点を移行しています。主催団体は、竹原市で「町全体のホスピス化」を理念に10年間継続的に活動しており、全国でも珍しいモデル地区としてその活動は注目を集めています。

この講演会は、がんの在宅緩和ケアについて理解し、地域の介護力向上の重要性を啓発するために企画されたものですが、本プロジェクトにより講演会の開催を会場費ならびにポスター（写真）など印刷費の形で助成することで、開催が実現しました。

講演会には竹原市の小坂市長を初めとして、竹原地区医師会理事、看護師、市民代表（遺族）、ボランティアがシンポジストとして出演され、がんの在宅緩和ケアに関わる各方面を代表して講演をお聞きすることができました（写真）。

講演会の開催前には、当クラブの廣川裕会員が、助成対象のボランティア団体のメンバーと数回の面談による情報交換を行い、講演会の企画や運営についてアドバイスをを行いました。また当日の配布資料用の印刷原稿の校正等を通じて演者との交流も行い、シンポジウムの座長も務めました。

当日は、広島東ロータリークラブの貫名堅会長をはじめ、8名の会員と1名の同伴者が講演会に参加して、在宅緩和ケア・ホスピスケアについて学びました。なお講演会の開催に先立ち助成金目録贈呈式を開催しました（写真）。

今後は継続して関係者と情報交換を続けることで、一般市民に対する在宅緩和ケア・ホスピスの考え方の啓発や、医療介護関係者への具体的支援や在宅緩和ケア・ホスピスの支援体制の一般化を見守り、どのような追加支援が必要かなどの情報収集を継続する予定です。

町全体をホスピスに……

“小さな町のホスピスモデル”

～安心して暮らせる町づくり～

2013年11月17日(日) 13:00～16:30

会場 大広苑 駐車場有 広島県竹原市竹原町上新開3591-1
TEL 0846-22-2970

会費 本会員 500円 一般 1,000円 学生 無料 定員 200名

特別講演 総合司会 黒田 裕子さん (日本赤十字社、在宅ケア研究会) 副司会 黒田 裕子さん
13:00～13:45

「誰もが安心して受けられる在宅医療」

講 師 山崎 章郎さん (ウタタツ小児クリニック院長)

山崎 章郎さん

シンポジウム 司 長 廣川 裕さん (広島市ロジック推進) 14:00～15:30 /パナリスト 竹原市長 小坂 政司さん 竹原地区 井口 哲彦さん
医師会理事 橋本 幸治さん 市民代表 内山 麻美さん (遺族) ボランティア 大石 綾子さん

意見交換会 会場の万々を交え、意見の交換をします。 15:30～16:30

【助成】 広島東ロータリークラブ 勇美記念財団

主催/広島・ホスピスケアをすすめる会竹原支部 TEL・FAX 0846-26-3788 (月～金 13:00～16:00)
共催/広島・ホスピスケアをすすめる会
後援/広島中央地域健康増進協会、竹原ロータリークラブ、国際ロボット竹原、医療法人仁徳会安田病院
後援/竹原市、竹原地区医師会、NPO法人がん患者支援ネットワークひろしま、美穂町患者会の「わがみの会」、竹原市社会福祉協議会、竹原ライオンズクラブ、広島県ユレコづくり推進協議会
NPO法人福祉ステーション広島、緩和ケアを考える会、広島（順不明）

